

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
E133C003		幼児と環境 (Infants and Environment)							対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
選択必修	1	2 (R5入学生 以前は3年)	教育学部 令和3年度 以降入学生用	後期	火3	日本語			複数(共同)、オムニバス							
担当教員	氏名 藤田敦・川寄道広・牧野治敏・中原久志 E-mail a-fujita@oita-u.ac.jp(藤田), mkawasa@oita-u.ac.jp(川寄), hmakino@oita-u.ac.jp(牧野), nakaharah@oita-u.ac.jp(中原) 内線 7614 (藤田)															
授業の概要	本授業では、「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」保育内容である領域「環境」の指導の基盤となる知識、技能を身につける。具体的には、幼児を取り巻く環境の特徴と環境と関わる力の育ちの意義について理解するとともに、幼児の自然環境、社会的環境、物的環境等の関わりを通じた興味・関心・理解の育ちを考察することができる。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	幼児を取り巻く保育環境の構成と遊びの中で育つ幼児の社会的認識の発達の関係について説明できる。															
目標2	幼児の身近な自然・生物との関わり方について幼児の自然認識の特徴をもとに説明できる。															
目標3	幼児の身近な物や遊具との関わりと具体的な活動について説明できる。															
目標4	幼児の身近な数量・図形との関わりと数学的認識の発達について説明できる。															
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							5	2	3							
授業の内容																
1	保育内容・領域「環境」の基本的理解(担当:全教員)															
2	環境との関わりの中で創る幼児期の遊び・身近な生活環境、社会的環境を見立てる遊びと認知的象徴機能の発達(担当:藤田)															
3	遊びを通して社会を学ぶ幼児の姿・幼児のごっこ遊びと社会的認識をつなぐ保育者の役割(担当:藤田)															
4	幼児の自然・生物との関わりと具体的な活動 - 幼児の自然認識の特性とその指導(担当:牧野)															
5	幼児の自然・生物との関わりと具体的な活動 - 多様な感覚を生かした遊びとその指導(担当:牧野)															
6	幼児の物的環境との関わりと具体的な活動 - 遊具に用いられる材料の特徴とその性質(担当:中原)															
7	幼児の物的環境との関わりと具体的な活動 - 木材を使ったおもちゃ作り(担当:中原)															
8	幼児の数量・図形との関わりと具体的な活動 - 遊びの中で培われる数量形認識(担当:川寄)															
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
ラーニング	A:知識の定着・確認	教材やおもちゃ作り、幼児の遊びの疑似体験、模擬保育などの活動と、				工 夫 の 他 の										
	B:意見の表現・交換	受講者同士のディスカッションを行う。														
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	保育現場の観察や自分の幼児期の経験を想起し、具体的な保育場面をイメージアップし、教材や遊びの構想を作っておく。(8h)														
	事後学修	授業中の課題(教材、おもちゃ作成、保育案作成など)に取り組む。(15h)														
	想定時間合計	23														
教科書	教科書は使用しない。必要な資料は講義中に配布する。															
参考書	・文部科学省・厚生労働省・内閣府『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』チャイルド本社、2017年(ISBN : 978-4805402580) ・文部科学省『幼稚園教育要領解説<平成30年3月>』フレーベル館、2018年(ISBN : 978-4577814475)															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	各回の小課題	70%										
	最終レポート	30%										
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											